

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和13年1月31日までです。

①研究課題名	中国人少年による日本への体験ツーリズムの事例から中国野球の発展の道を模索する
②対象者及び対象期間	令和7年9月にインタビューを実施した日本人野球指導者1人
③概要	本研究は、中国野球の発展について、少年野球レベルの選手の日本への「野球体験」ツーリズムの事例調査を通じて、その可能性を追究するものである。中国人少年への日本人指導者のコーチング実践の事例から、中国富裕層子弟による「野球ツーリズム」ともいうべき日本での消費活動が中国野球の発展に寄与する可能性を探り、また、そのモデルが他の発展途上国にも適用可能かを探究する。
④研究の目的・意義	フィールドワークにおけるインタビュー事例を通して、中国における野球の発展の可能性と、青少年育成における野球の役割を明らかにする。加えて中国における野球の発展モデルが他の発展途上国への応用可能性を探求する。
⑤研究期間	倫理審査小委員会承認日～令和13年1月31日
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	国内で実施した野球指導者へのインタビュー調査により取得した情報を利用する。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、論文執筆などに使用する。
⑦利用または提供する情報の項目	日本人野球指導者への中国人選手の指導状況についてのインタビュー内容
⑧利用の範囲	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系・准教授 石原豊一
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者（お問い合わせ先）	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系・准教授 石原豊一 Tel : 0994-46-4967 E-mail : t-ishihara@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4878 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	